

宗禪寺開創四〇〇年の記念の年を迎えています。地域の皆様に支えられての四〇〇年です。今年もたくさんのお力をいただき、お薬師様のお祭りを開催致します。

和尚さんのサックス演奏にバルーンショー。子供たちの日本舞踊もございます。檀信徒以外の皆様もどうぞお越し下さい。秋の夜を楽しめましょう。

薬師如来大祭

決行
雨天

十月一日(土)午後二時半～八時

◆サックスとギターによる演奏法話

伊豆河津・栖足寺千葉兼如和尚 長谷隆行さん

◆バルーンショー

バルーンマリカさんによるバルーンショー

そうぜんじ便り

19世
俊諦和尚
筆

第126号
平成28年秋彼岸
臨濟宗宗禪寺
住職 高井正俊
副住職 高井和正
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

◆14時 ジヤンガン町内ふれ回り
◆14時半 御詠歌奉詠 大祭法要
◆15時半 日本舞踊・大正琴
◆16時15分 子供たちの日本舞踊・式典
◆17時 バルーンショー
◆17時45分 ギターとサックスの演奏法話
◆18時 決行
◆19時頃 フラメンコ(エル・ソンドと仲間達)
伊庭末男さん民謡ショー

※時間はおおよそ予定です

薬師祭手作り屋台

村のおじさん、お兄さんがやります。

●天神様からのプレゼント	●建長汁 ●ポップコーン	●焼鳥 ●焼きそば	●名物鰯焼
●百万遍の数珠回し	●綿飴 ●ジュース	●ビール	(一五〇円) (一〇〇円) (一〇〇円)

寺は文化の発信地

—宗禅寺土曜講座が始まります—

宗禅寺は今年で創建四〇〇年になります。

高井正俊住職も鎌倉の建長寺の二十四年間の役職生活を終えて帰山致しました。副住職の高井和正和尚は来年の五月二十七日に晋山式を迎えます。

これらの事を記念して、ここに「宗禅寺土曜講座」を始めることになりました。宗禅寺は以前より「寺は文化の発信地」をモットーに文化展や薬師如来大祭をはじめ、種々の定期活動を行っています。それらの活動を支えて下さっている方々と共に、地域文化を共有し創造し、地域力を高めていくために毎月一回の勉強会を開始します。

自分達が住み、暮らしている川崎村、羽村市、西多摩のこと（灯籠流し、中里介山、西多摩の自然・地形、お祭り、お葬式、横田基地、国際情勢など）を皆さんと学んでゆくことで、自分を高め、地域を育てることが、私達の幸せに繋がっていくと思います。老若男女みんなでこの会を作つていいます。五年間は続けていきます。皆さんのご支援とご協力ご出席を切に希望致します。

第一回 九月十八日（日）午後一時半～四時半

■「仏教講座」

■「私のしてきたこと」

宗禅寺副住職

高井 和正

(二十分)

宗禅寺総代

新井 政昭さん

(三十分)

■「多摩川と玉川上水」

羽村市郷土博物館館長

河村 康博先生

(六十分程)

第二回 十月八日（土）午後一時半～四時半

■「仏教講座」

■「私のしてきたこと」

宗禅寺副住職

高井 和正

(二十分)

■「多摩の郷土——近藤勇を中心に——」

小島資料館館長

小島 政孝先生

(六十分程)

第三回 十一月十九日（土）午後一時半～四時半

■「仏教講座」

■「私のしてきたこと」

宗禅寺副住職

高井 和正

(二十分)

■「川崎村と私」

宗禅寺檀信徒

島田 文生さん

(三十分)

第四回 十二月十七日（土）午後一時半～四時半

■「仏教講座」

■「私のしてきたこと」

宗禅寺副住職

高井 和正

(二十分)

■「お蕎麦の話」と実演

宗禅寺総代長

大野 哲夫さん

(三十分)

第五回企画中、第六回羽村灯籠流しのこと、第七回三月二十五日 円覚寺管長横田南嶺老師の法話「「ふるんでも花」、第八回四月二十九日 中里介山忌 羽村市禪林寺にて

※予約は不要です。会費は無料ですが、お茶代として300円を頂戴します。但し、大学生以下は無料です。
※参加の資格はありません。檀家でないと参加できないと思つておられる方がいらっしゃいます
が、ご心配ありません。どなたでも参加できます。

宗禅寺山門施餓鬼会

東京のお盆は一ヶ月早く七月に訪れます。毎年七月十五日にお盆の総供養として施餓鬼法要を執り行っています。

例年、法話の時間を設け、和尚さんに来ていただき、お話しをしていただいていますが、今年は神社の宮司さんにお越しをしていただきました。

茨城県つくば市の千勝神社の千勝良朗様です。ご自身の経験から亡くなられた方々の持つ苦しみを供養で取り除いてあげることの重要性をお話しして下さいました。お供え物も決まり切つたものをお供えするのではなく、故人が好きだった物を供えてあげるなど、身近にできる供養への工夫についても言及されました。遠方からわざわざお越し下さり、貴重なお話をいただきましたことを感謝申し上げます。また、例年通り、大勢の皆様のお手伝いをいただきました。ありがとうございました。ありがとうございました。



施餓鬼法要の精靈棚。
乾物、野菜お米をお供えします。



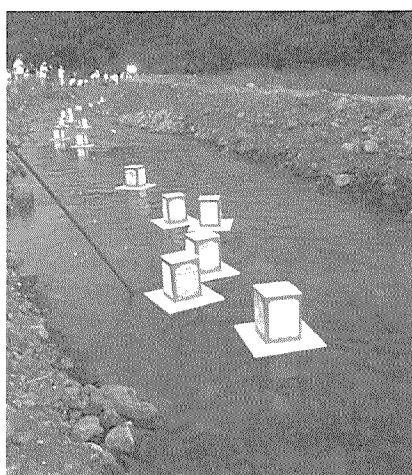
千勝神社の千勝良朗様。
茨城県からわざわざお越し下さいました。

八月の第一土曜日の夜に毎年灯籠流しが開催されています。今回で三十四回を数えます。

本年から三年間は宮の下運動公園での開催となります。担当幹事地区も加美地区となり、新たに一峰院の橋本弘山様を実行委員長に迎えました。宗禅寺の川崎地区は玉川町の大塚敏行様が地区の責任者になります。

例年通り、七月に薬師講の皆様が町内に灯籠を売り歩いてくれ、川崎地区だけで五一基の灯籠が流されました。これは羽村四ヶ寺の中で一番多い数になります。ひとえに地域の皆様のお力の賜物です。

ご存じの通り、灯籠流しは羽村だけの地域文化ではありません。全国的に行われているお盆の伝統行事でもあります。日本の伝統文化である灯籠流しが実行委員の皆様のお力により三十年以上継続し、羽村の夏の風物詩となりました。



流れる灯籠、暗くなると幻想的な景色になります。

宗禅寺 山門施餓鬼会

第34回 羽村灯籠流し

文庫長だより 島田秀男

前号の「そうぜんじ便り」で、もともと宗禪寺にあった半鐘が七十一年ぶりに帰ってきたことをお知らせしました。この半鐘は、昭和二〇年三月に当時の軍部へ供出されてしまつたのです。戦争とはおそろしいものです。上からの命令であれば従わざるをえないからです。

生活用品の鍋や釜までも供出されたといいます。そんな状況でしたから、村の人々も半鐘は一度と寺には戻ることはないものと考えていたと思います。それが、無傷のままその半鐘が寺に戻ってきたのです。どのように考へても、興奮せざるを得ないのです。ましてや今年が寺の創建四〇〇年記念事業を行つてゐるところでしたので、ピックなニュースです。そこで、この半鐘についてもう少しお話しておきたいと思ひます。

この半鐘は、今から二七〇年前の延享三年、宗禪寺住職九世玉翁(ぎょくおう)和尚のときに栃木県佐野市在住の天明鑄物師(てんみよういもじ)長嶋文次郎吉久によつて鑄造されたものです。残念ながら、鑄造を長嶋文次郎に依頼した経緯は不明です。

佐野の鑄造業がいつごろからはじまつたのははつきりしていないようですが、平将門の乱(九三九年)を征伐するために立ち上がつた藤原秀郷が軍器を鑄造させるために、河内国(大阪)から呼び寄せた鑄物師たちが定住したことによるとの説があります。室町時代以降は、茶の湯釜の生産地として有名になりました。もちろん、釜だけを作つていたわけではなく、梵鐘や鰐口・香炉といった仏具も製作し

ていました。

長嶋文次郎吉久の作例は、現在のところ宗禪寺の半鐘のみですが、長嶋一族の作例では、群馬桐生の東漸寺や埼玉児玉の長泉寺などに梵鐘や半鐘が残されています。また、半鐘に刻まれた銘文から川崎村にあつた念佛講中の人々が施主となつて造立されたことが知られる点も興味深いものがあります。

さて、鑄物師といえば五ノ神鑄物師のことが思い浮かびます。昭和三年に発行された『西多摩村誌』によれば、「五ノ神村の境内には至る所から沢山の金屑(かなくず)が掘り出される。この事業と古老の伝ふる所によれば同村は古昔鑄工をもつて生活を営み、遠祖桜沢市兵衛盛次、渡辺与治右衛門忠教の兩人はその道の名匠(めうきょう)であつたと記述されています。桜沢・渡辺姓の先祖を探つていくと、もとは

作品は、青梅市塩船観音寺の梵鐘(寛永一八年作、現存)と所沢市鳩峰神社の梵鐘(寛永七年作、現存。もとはあきる野市一ノ宮神社にあった)。そして、瑞穂町福正寺の梵鐘(万治二年作、現存せず)の三例があります。一般的に梵鐘など大形のものを铸造するとき、鑄物師は自分の工房で铸造するのではなく、出職(でしょく)といって注文のあつた寺院かその近くで铸造していました。

梵鐘の作り方は、大きな穴を掘り、そこに鋳型をおき、溶解した銅と錫を流し込みます。分量は、銅が八五パーセント、錫が二五パーセントといわれています。錫の分量が多いともろくなるようです。梵鐘の特徴は、音色(余韻)が生命といわれ、錫がその役割を果たしているようです。

梵鐘は仏教の伝来とともに古くからあります。最も古い鐘のものは六九八年の京都妙心寺の鐘です。すぐれた鐘が多いのは鎌倉時代で、安土桃山時代以降は製作数もふえ大型化します。江戸時代は、もつとも製作数が多くなつたようです。

江戸後期の戯作者であった大田南畠(おおたなんば)が書いた『調布日記』に羽村堰付近を視察したあと、五ノ神村を訪ねて、ここは昔奈良の大仏の铸造にかかわった鑄物師の村であると書いています。南畠は奈良の大仏と言つてますが、どうも慶長九年(一六三四)に铸造された京都方広寺の鐘のことらしいのです。方広寺の鐘は、その銘文に「國家安康(くわい)豊樂」とあり、徳川家康が名前を引き裂いて使用するとは、家康を呪うものであると激怒し、豊臣家の存亡をかけて戦われた大阪の陣のきつかけとなる有名な梵鐘です。

その方広寺の鐘を铸造した五ノ神鑄物師二人が、村に帰る途中、箱根の峠にさしかかるとその鐘が鳴つてしまつたのです。自分たちが箱根を越えるまでは鐘を撞かないようになると寺に言つておいたにもかかわらず鐘の音が聞こえてしまつたので、その二人はそのまま行方しれずになつたという伝承が残されています。

五ノ神村の铸造業は、江戸初期以降は衰退したようですが、もしそのまま継続していたならば、宗禪寺の半鐘も五ノ神鑄物師によつて铸造されていたのかもしません。

参考図書
『羽村町史』『鑄物師と梵鐘とまいまいづ井戸の話』 桜沢孝平著
『もうひとつのおみやげ』 会報羽村郷土研究会(第三回)

寺門清風（住職日誌）

- 西東京臨済会、建長寺の新しい禅堂で坐禪二十五名。重慶飯店で祝宴。 6/17
- 幸楽園にて、福生・あきる野青年会議所合同歴代理事長会、旧交を温む。 6/18
- 禪センターで今迄の写真整理。ドロテーさん豊月庵宿泊所建築で来山。 6/20
- 鎌倉春秋で「建長寺」本、最終校正。鎌倉てらこや有志で私の慰労会。 6/24
- 金沢、鈴木大拙記念館訪問、芳沢勝弘さん他二人、大いに旧交を温む。翌日、芳沢さんの「白隱講演」拝聴。 6/25・26
- 鎌倉、妙本寺早水日秀聖人津送。 6/27
- 建長寺で大座禪会、会議。 6/30
- 宗禪寺総代会——四〇〇年・晋山式・お盆施餓鬼等の相談。「鎌倉禪研究会」フェイスブック開設。 7/1
- 宗禪寺寺子屋教室——田村しおりさんヴィオラ演奏、島田秀男さん中里介山の話——客殿にて六十名の参加。孫、瑠璃花・花音二歳の誕生日。とうろう販売。 7/3

- 鎌倉禪研究会、円覚寺さんで石井修道先生の鈴木大拙の話、僧堂で今北洪川老師の墓参、松が岡文庫見学。東慶寺で釈宗演老師、鈴木大拙先生の墓参。参加者百二十人。 7/4
- 五日市、吉祥寺宍戸臨讓師遷化。 7/6
- 宗禪寺お盆の案内状家族全員で。 7/7
- 秩父、金仙寺斎藤和尚津送導師。 7/8
- 建長寺で千葉商科大学宮崎緑さんの授業で座禪・食作法の指導。鎌倉春秋社で『建長寺』本、校正 7/9
- 金沢、岡村美穂子さんの「大拙から学んだこと」を聴講、挨拶。 7/12
- 宗禪寺お盆早朝座禪会。十六日迄。 7/13
- 宗禪寺大施餓鬼会、寺最大の行事。 7/15
- 鶴見、シャル鶴見「坐月一葉」で坐禪とお話。鎌倉、服部全至師遷化。 7/19
- 鎌倉花火大会、大仏さんの招待。 7/20
- 建長寺開山忌、宿忌・半齋。役職を離れての参加は余裕あり。 7/23・24
- 『建長寺』本、発送準備。 7/25
- 『建長寺』——そのすべて』完成。見事な出来映えで感激。三千五百部 7/26

- 宗禪寺『建長寺』五〇〇冊届く。 7/27
- 『建長寺』本、鎌倉春秋社から寺院・宗禪寺・建長寺檀家へ発送。宗禪寺からも関係者に発送。数日かかる。 7/28
- 『建長寺』本を持って、建長寺・円覚寺両管長様に挨拶、献本。 7/30
- ロイヤルパークホテルでダンス発表会に招待してもらう。まさに竜宮城。 7/31
- 鎌倉禪研究会の秋からの予定完成。 8/2
- 和正和尚、私のためにフェイス・ブックを見られるようにしてくれる。 8/4
- 羽村とうろう流し第三十四回、今年もみなの力で盛大に挙行。 8/6
- 鎌倉てらこやで建長寺へ、吉田大裕君とお茶。フォユーヘ。 8/7
- 宗禪寺本堂掃除やつと始める。建長寺本の礼状、毎日たくさん来る。 8/9
- 新町・魚双で一献。主人・北村喜道師・棚橋正道師と共に。 8/10
- 多摩美大淵田雄先生と寺史の相談。 8/11
- 鎌倉・波と風で佐藤美智子・松田妙子・信国さんで一献。私の慰労会。 8/12
- 建長寺・土曜法話でお話し、十一時・一

時。鎌倉で遊ぼうで島園進・佐藤美智子さん他で、懇親会。

8 / 12

- 宗禅寺、松本泰子さんと山藤流の日本舞踊おさらい会の相談。

8 / 14

- 「鎌倉禪研究会」「宗禅寺土曜講座」の案内状作成。寺子屋教室で皆さんから意見をいただく。
- 晋山式にむけて『宗禅寺史』発行のための編集会議。淵田雄・佐野昭吉・島田文庫長・住職・副住職。

8 / 17



- 宗禅寺 池の亀が産卵。無事に産まれて欲しい

6 / 27

- 西東京臨済会 小作にて熊本ボランティア反省会。今後の活動などを話し合う。

6 / 28

- 寺子屋委員会 舞い戻ってきた半鐘について

6 / 29

○五日市吉祥寺宍戸臨讓師津送、鎌倉にて
鎌倉塾（牧田知栄子さん） 8 / 22
檀信徒特価 二千円でおわけしています。

8 / 22

- 宗禅寺『大納涼会』住職帰山報告・副住職晋山決意表明。百四十人。

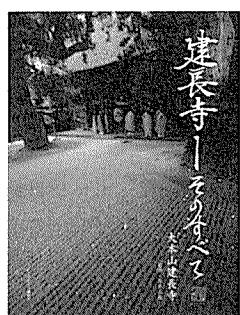
8 / 27

- ※鎌倉の建長寺で鎌倉禪研究会主宰し、鎌倉塾に開わり、羽村では住職の責任を感じながら、宗禅寺土曜講座の開始と晋山式にむけての建築・出版の準備をすすめます。一日の生活のリズムを楽しみつつ、檀信徒の皆さん、家族と共に前に進んでいきます。

(正俊)

「建長寺——そのすべて」

檀信徒特価 二千円でおわけしています。



創建四百年を記念して、墓地の分譲を始めました。一区画百五十万円です。

籠の売り歩き。

7 / 3

- 寺子屋教室 毎年恒例の寺子屋教室。島田文庫長の中里介山の講演

7 / 3

- 西東京臨済会 福生清岩院にて幹事会會議。熊本ボランティア活動資金協力要請を行を担当幹事より報告。

7 / 3

- 総代会 恒例のお盆前の総代会。施餓鬼法要のこと、お盆の案内、来年の晋山式のことなど。

7 / 1

- 護持会清掃 薬師講役員の皆様とお盆前

7 / 1

- 灯籠流し 午前中薬師講の皆様による

7 / 8

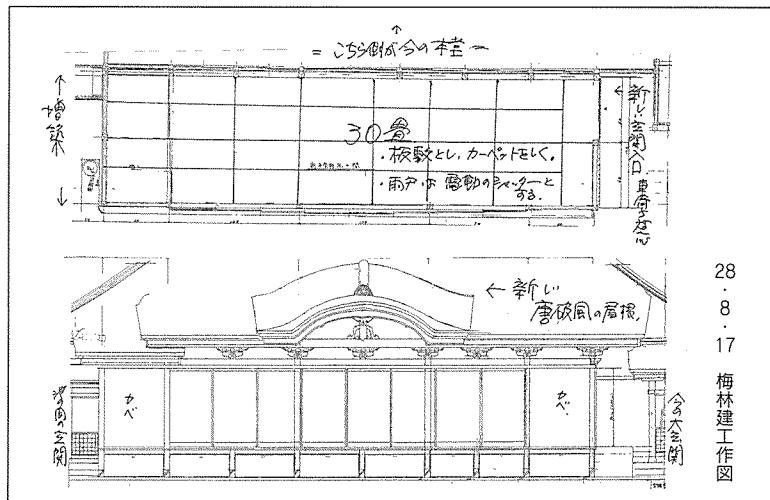
- 大船 八月の「鎌倉てらこや建長寺合宿」事前会議へ。大学生の皆様とお寺の時間について打ち合わせ。 7／27
- 檜原村吉祥寺 六日にご住職の計報が入る。通夜参列予定も、宗禪寺のお通夜と重なり夕刻住職と弔問へ 7／10
- お盆早朝坐禅会 お盆とお彼岸は毎朝坐禅会を実施しています。暑くなる前に静かに坐禅。 7／13～16
- 当山施餓鬼会 今年は暑さもほどほどで助かりました。法話は神社の宮司さん。ご来山いただきました皆様ありがとうございました。 7／15
- 灯籠流し 灯籠流し実行委員会全体会を当山客殿で。今年から実行委員長は橋下弘山様。一峰院地区の皆様が幹事当番になります。 7／17
- サマーランド 瑞璃花と花音連れて。お風呂で頭を洗うのを嫌がるこの頃。プールで馴らそうと目論むも、やっぱり嫌みたい：7／20
- 建長寺開山忌 開山蘭溪道隆禪師のご命日。毎年法を行っています。御詠歌講の皆様は恒例のご詠歌奉詠大会へ。私は翌日の本法要へ。
- 7／23～24
- 保健センター 瑞璃花と花音二歳検診へ。とりあえず順調 8／2
- 灯籠名前書き 灯籠流し前夜。お寺で流す分の灯籠へ名前入れ。薬師講の皆様と。 8／5
- 羽村灯籠流し 今回で三十四回目。今年から三年間は宮の下運動公園にて開催。天気に恵まれる。 8／6
- 家族でふくふくツアーアー 羽村の主婦の皆様を中心としたプロジェクト「ふくふくツアーアー」。被災地福島の皆様が保養のため、毎年羽村で二泊三日過ごされていました。坐禅体験をさせて欲しいとのお願いがあり、午前中来てくださいました。一時間ほど皆で坐禅
- 8／7
- 消防 応急救護訓練と町内会との防災訓練の打ち合わせ。 8／18・19
- 建長寺土曜法話 本山建長寺では毎週土曜日三門下で法話を聴くことができます。布教師会の和尚さんが当番制で法話をしています。この日は私が当番でした。 8／20
- 薬師講 晩に薬師講の集まり。秋の大祭の確認など。 8／21
- 消防 台風警戒による召集 8／22
- 宗禪寺大納涼会 8／27
- 鎌倉てらこや本気de建長寺合宿 N.P.O.法人「鎌倉てらこや」主催の建長寺合宿。子供百人、大学生八十人、お坊さん七人、親御さん他四十人の合宿。坐禅と食事作法、掃除を担当 8／7～10
- 八月盆 埼玉のお寺さんのお施餓鬼法要へ。越生、小川、秩父、三芳。三芳町多福寺は私の母親の故郷。祖父母の墓参もできました。 8／13～16

宗禅寺本堂増築図

完成 平成29年5月

増築理由

- ①現本堂が手狭であるため
- ②薬師如来大祭、節分の時の舞台、豆まき用に使える。
- ③堂下は、収納として使用する。



寺子屋委員会 秋の寺社巡りの旅(仮)

本年秋も恒例の寺社巡りの旅を企画致します。日頃は拝観できない場所まで入れる貴重な機会になります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

[日どり] 十月二十五日(火)

[出発時間] 午前八時半

[行き先] 北多摩方面※詳細はお寺まで。

[会費] お一人様千円にて

[定員] 四十名 ※定員になり次第、締切と致します。

[申し込み] 氏名、連絡先、生年月日、旅行当

日の年齢をお寺までお知らせ下さい。

※昼食は参加者の皆様にご持参をしてい
ただく、旅行になります。ご理解の程、
よろしくお願ひ申し上げます。

宗禅寺観音募金

(平成28年6月28日～平成28年8月26日)

前回継越	10,902円
収入	26,937円
支出	20,000円
	20,000円 羽村市社会福祉協議会
継 越	17,839円

宗禅寺毎月の活動

お寺で新たな自分を発見

- 朝粥坐禅会……毎月第一日曜日 朝6時～8時半 一日の始まりに坐禅。坐禅後、禪の作法でおかゆをいただきます 10/2 11/6 12/4
- 土曜坐禅会……毎週土曜日 子供：夕6時～7時 大人：7時半～9時半 背筋を伸ばして坐ってみましょう イス坐禅もあります
- 土曜講座……毎月一回の勉強会。13時半～16時半地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。 9/18 10/8 11/19 12/17
- 彼岸早朝坐禅会……9月19日～25日毎朝6時より。7時頃終了。 短時間で初心者向けです。一日だけでも大丈夫です。
- 写経会……毎月1日、11日、21日、1時～3時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。
- 御詠歌……毎月第1・3火曜日 1時半～3時
- 木彫教室……毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師：新井達矢先生 場所：宗禅寺禪センター 仏像や能面を自分で彫ってみませんか？ 月謝5000円(道具、材料費は要別途)
- 俳句教室……毎月1回、適宜。問い合わせ先：中野つたえ ☎554-2444
- 尺八吹禅の会……毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合わせ：坂井陵童 ☎554-3273
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 一活動中です—
- 宗禅寺禪センターをお使い下さい。